



27 西村總左衛門

《天鷲絨友禪風ノ図》

一幅

明治三十六年(一九〇三)

天鷲絨地、友禪染

二〇〇・〇×一四六・五

京都府 第十部第五十八類

二等賞

明治三十六年の第五回内国勸業博覧会に出品され、二等賞を受賞、宮内省に買い上げられた作品。激しい風雨のなか、檜の古木に踏ん張る鷲の姿を友禪染で表している。友禪染による絵画的表現の優れた技術に加えて、部分的に天鷲絨の輪奈を切ることで、光沢感や色彩に奥行きが生まれており、一見して油彩画のような雰囲気がある。原画の作者は明らかでない。出品当時は額装であり、買い上げ後まもなく用途にあわせて現在の掛幅装に改められた。本作以外にも宮内庁には明治三十〜四十年代にかけて製作された天鷲絨友禪による額装作品がいくつかまとまって伝えられており、洋風建築の宮殿の装飾品として使用されていたこれらの品々を見ても、明治後期から大正初期にかけて、天鷲絨友禪は一世を風靡した美術染織であったことがわかる。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

内国勸業博覧会 ― 明治美術の幕開け

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 57

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十四年四月二十一日発行

© 2012, The Museum of the Imperial Collections